

感染状況・医療提供体制の分析(7月7日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (6月30日時点)	現在の数値 (7月7日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	7人 (0.4人)	14人 (0.7人)	↗	<p>総括コメント</p> <p>レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり0.7人</u>と増加。陽性者における接触歴不明者も増加。岡山県内でも、感染力の強いデルタ株の症例が報告された。デルタ株の流行が見られる東京では新規陽性者が増加し緊急事態宣言再発令。大阪府や兵庫県でも新規陽性者が増加傾向にある。容易に感染拡大する可能性もあり、<u>今後も気を緩めずワクチン接種も含めた感染対策を継続し、リバウンドを防ぐ必要がある。</u></p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	1人 (14%)	3人 (21%)	↗	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	3人	9人	↗	
		県南西部	4人	4人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	6人	11人	
割合 (③/①)			86%	79%	↘	
医療提供体制	④入院患者数	24人	13人	↘	<p>総括コメント</p> <p>レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる</p>	
	⑤確保病床における入院割合	5%	3%	↘	<p>入院患者・重症者数とも減少傾向を維持。宿泊療養者数は8人、自宅療養者は1人となった。予定手術など含め、通常の医療が提供できる体制である。</p>	
	⑥重症者数	4人	1人	↘		